

2023年度第2回広報委員会議事録

日 時 2023年7月13日19:00～
場 所 Webミーティング

【出席者】

鎌塚(上毛HP)、狩野(田中HP)、原島(田中Hp)、横澤(くわのみハウス) 福永(ケンCL)、茂呂(サンピエールHp)、櫻井(群馬病院) 工藤(上毛HP)

【広報誌について】

・前回会議において記事内容を大まかに決定したが、その中の「こころのふれあい・ふれあいバザー展の告知等含めた記事」について先月行われた全体会議で総合的判断にて中止が決定した。ふれあいバザー展の記事の分、補填するかどうか？例えば群大福田教授退官に伴い寄稿を頂くとか・・・？
→来年がどうなるか新しいメンバーの意向になるがバザー展そのものは完全に無くなりはない方向。ただ前提として、バザー展は根本的には精神科病院協会が主催団体であり、県士会はあくまで協力団体としてステージの担当をしている形。尚、バザー展自体は明清会・・・だが、当会会員いない。一先ず今回のバザー展の記事は無しで。

《記事内容再確認》

- ① ソーシャルワーカー3団体(SW、MSW、MHSW)連盟立ち上げ→担当：大島Hp林
 - ② ソーシャルワーカーデー→担当：群馬Hp鈴木
 - ③ 当会が受ける厚生労働大臣からの表彰(9/8の全国大会打ち上げの際に、形式的に表彰を受ける形で写真も撮影)→担当：大島HP林
 - ④ 新事業の紹介：倫理委員会(担当：田中HP狩野)、自殺対策委員会(担当：県立Hp中嶋)
 - ⑤ 新会員紹介(現在の予定では市職の方、上毛病院の相談室各1名づつ)→担当：工藤
 - ⑥ 事務局からのお知らせ、編集後記、各SNS、HPの案内(いつも載せているもの)
- ・ソーシャルワーカー3団体の広報誌と内容や発行時期は被らないか？(県士会が幹事なので)
→多分重ならない(向こうは現時点で何も動いていないので)。あくまでこちらの広報誌は精神保健福祉士会としての視点で記事を書く。
- ・現状だと当初の予定の9月発行は厳しい・・・
→原稿全体の締め切りは9月末までとし、10月下旬の発行、11月の県士会発送物に同封での郵送の予定へ。

【Zoomサロンについて】

・計画では年2回予定となっているが、サロンの当初の目的(オンライン講演・会議などのZoomの使い方に慣れる等)はほぼ達成されたと考える。そのため、複数回開催する必要はないのでは。本来参加者をもっと増やすことを検討しなければならないが・・・現実、広報委員会のメンバーなど、決まったメンツばかりが参加している状況。

・しかし、コロナ渦で始まった企画とはいえ、端的に終了するには惜しい。はっきり言って今後もオンラインは続いていく（この環境にみんな慣れてきているため、Zoom会議等はなくならない）。いっその事方向性の転換、名称の変更も示唆される状況ではあるが……。県外、遠方の方との交流を持つことが可能などの利点は多いが、如何せん参加者が増えないのが悩み。

→一先ず今年度は、愛媛県全国大会についての感想・雑談を語る内容で開催（あまり大会に関わる話……。というよりは、愛媛ネタ、松山界隈の話など）。諸々の状況からR6.1月22～26日に開催する方向で。

- ・愛媛県大会にチラシをデータで持っていく方向（サロンのQRコード発行）。
- ・来年度は……。目的探しも含めて。年1本は、負担にならない程度で。

【HPについて】

・今回また求人についての依頼（クリニック、大学病院、県職等）があった。今までは会員専用ページにあったが、今後求人本来の意味合いを考えるとオープンスペースにした方がいいのか、特典のような感じで、会員専用ページの方がいいのか？（依頼側からは「中々求人が来ないので、広く周知してもらいたい」との要望あり）

- ・日本協会は……。現在オープンページに求人掲載している。
- ・希望に応じてオープン、クローズに対応するのは、実務者的には厳しい。加えてSNS、メールにて回覧することにも可否を確認しなければならないか……。いずれにせよ、方向性はどちらか一択が望ましい。
- ・掲載期間についても線引きする必要あり（いつまでも残る、そして埋もれる）。
- ・上記について、求人広告掲載要綱を正式に作成し、それに則って掲載を行っていく。
- ・掲載要綱は櫻井さんに草案作ってもらう。それを検討し最終的にGoogleフォームにて。
- ・SNS、Facebookについてはリンクを張る形で。

- ・今後オープンページに求人ページを作成し、それで。

【Facebook等SNSについて、今回浮上した問題点】

（田中Hp原島さんより報告）

Facebookの記事への批判的なコメント、及びtwitterの記事についての悪意あるリツイートが確認された。ブロックやFacebookそのもののコメントを受け付けない設定など対策を講じる必要があるかどうか？

→コメントの投稿不可となると、好意的なコメントや、適切な意見も聞くことができないのでSNSとしての性質を成さない告知ページになってしまうことから、良策とはいえず、ブロック対応についてはより反応される恐れあり。SNSについての対応の原則に則り、文句や批判についてはスルーし、反応せず静観するのが望ましい。もし今後個人名を挙げての誹謗中傷等の状況があれば、早急に、県士会としてコンプライアンス・個人情報保護などに基じた適切な対処を行っていく。